

(2) 事業コンセプト

ア. 建築計画

■外観構成の考え方

千里ニュータウンとして形成してきた緑豊かなまちなみにとけ込みながらも、駅前拠点としての存在を持たせ、地域のランドマークとなるよう、落ち着きと風格を持たせた外観構成をめざします。

■内部構成の考え方

公共施設建築物の機能配置において、各施設機能の関係性や開館時間、施設利用毎の特性（子どもや高齢者、障害者）などに配慮し、施設利用者の利便性に重点を置いた構成とします。

■階層構成の考え方

千里ニュータウンのまちづくり指針である高さ45m内で、各階層の高さにゆとりを持たせ、将来の施設機能の変更に對しフレキシビリティを高め、公共施設ニーズに迅速に対応できる長寿命庁舎をめざします。

イ. 構造計画

近年の地震や台風などの災害時において、災害応急対策活動が行える施設となるよう、構造計画については安心して安全な災害に強い庁舎づくりをめざします。

ウ. 設備計画

設計段階において効率的な施設計画と、ランニングコストの縮減を図ります。

エ. サイン（案内）計画

公共施設内や建物出入口においては、誰もがすぐに理解できるよう、サイン計画を構築します。また、可読性や視認性（大きさ、位置、色彩）などに配慮するとともに、音声によるサインや、図柄をシンボル化した絵文字サイン、外国語表記によるサインにも配慮します。

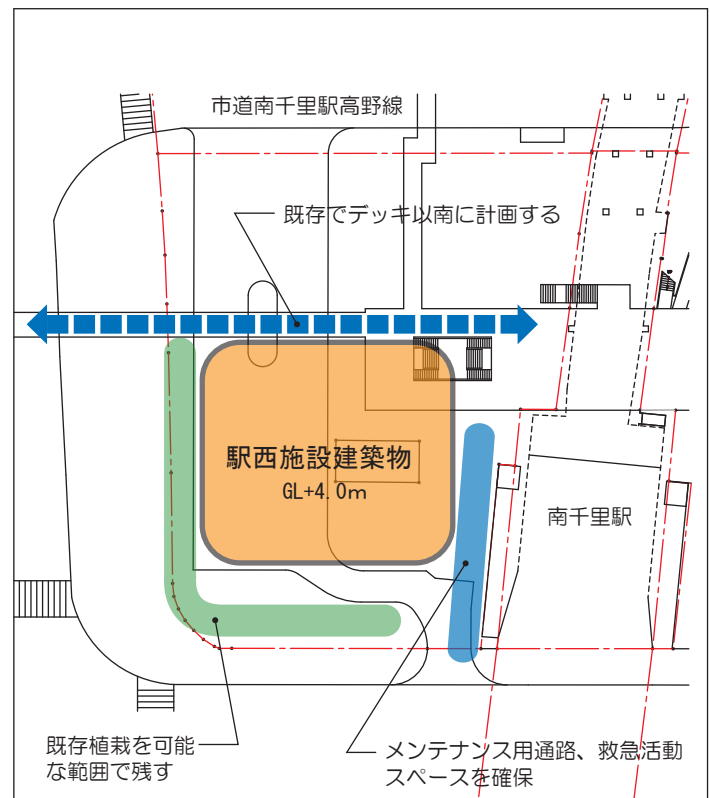
オ. 外構整備計画

(ア) 建築物の周囲、スペースの設定

- ・北側においては、竹見台方面への東西デッキより以南で計画します。
- ・西側は、既存植栽を可能な範囲で残します。（特に高木）
- ・南側は、既存植栽を可能な範囲で残します。（特に高木）
- ・東側は、メンテナンス用通路、救急活動のスペースを確保します。

(イ) アプローチ計画

- ・北側は交通広場および駅へのアクセスとして2階にオープンスペースを設けます。
- ・西側はアプローチを設けません。
- ・南側は既存のタクシー出入口付近に車両アプローチを設けます。
（既存の車路スペースの活用）
- ・東側デッキ部は、南千里駅や公共広場への連携性を高めるため、アプローチを設け、界隈性と賑わい性を向上させます。



(ウ) 階高設定（デッキとの関係）

北側にある現況のデッキを利用するが、駅西公共施設の1階の使い勝手などを考慮し、公共施設の2階床の高さをGLより+4.0mと設定し、段差処理は既存竹見台方面のデッキを活かした建築計画を行う。